

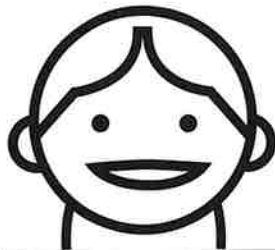
ちやいさぼレター 3っうめ



NPO法人

チャイルド・ケモ・ハウス

NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウスでは、神戸市、西宮市、尼崎市から委託を受け、小児慢性特定疾病のお子さまの自立支援事業を行っています。



こんにちは！自立支援を担当しています二階堂です。NPO法人チャイルド・ケモ・ハウスでは、神戸市・西宮市・尼崎市より委託を受け、小児慢性特定疾病を持つお子さまの自立支援事業を行っています。この「ちやいさぼレター」は私たちの活動をより知っていただけるよう年に1回発行させていただいております。今回は実際の相談内容の紹介を交えつつ、私たちが支援の中で大切にしていることをお伝えできればと思っています。



情報は溢れている。難しいのは、その取捨選択。

私たちは、病気を持つお子さまとご家族からの相談窓口として、主に電話や訪問などでお話を伺っています。患者会や福祉サービスなどの情報が欲しいという方には必要な情報提供をさせていただきますし、入園に悩まれている方には園との面談に同席したりすることもあります。

ですが、もらった情報をご家族だけで取捨選択して考えるというのはなかなか難しいものです。お子さまの場合は相談事の種類によって相談窓口が違い、それぞれで相談したことをご家族だけでまとめて組み合わせる考えるのは精神的にも労力的にも大変な負担となります。



家族だけで問題を抱えることの大変さ。

あるご相談で、訪問看護や療育など必要なサービスを導入するにあたって悩んでいるお母さんがいらっしゃいました。何度か訪問をしてお話を聞いているうちに、少しずつお母さん自身で考えを整理され導入するサービスを決められたのですが、ある時『それでいいと思うよ』って言ってくれるだけでいいんです。一緒に考えてくれるだけで有難い。」とのお言葉をいただいたことがありました。ご家族だけで問題を抱えることの大変さを感じ、同時に「一緒に考えてくれる人」を本当に必要とされているのだということを改めて実感した瞬間でした。



制度がなくても、寄り添う姿勢を何よりも大切に。

社会資源で解決できる問題はたくさんあります。ですが、それだけでは解決できない問題もあると思います。その問題は私たちがお子さまとご家族に寄り添い、一緒に悩み、考えることで解決できることかもしれません。チャイルド・ケモ・ハウスでは、疾患や相談事の内容にかかわらず、常にお子さまとご家族と同じ目線で寄り添っていける場所でありたいと思っています。その姿勢を忘れずに、そして何よりも大切にして、これからも支援を続けていきたいと思っています。

昨年のイベントの様子



工作をしながら
お話をしています～

チャイケモ
自立支援の
Instagram



ID:jiritsushien

自立支援事業
ホームページ



チャイルド・
ケモ・ハウス
ホームページ



お問い合わせ

電話：090-8533-2499 月～金 9:00～16:00 ※祝祭日は除く

メール：seikatsu@kemohouse.jp 随時受付※お返事までに数日かかることもあります